

手彫鳥 12 銭 (ハ)

川原 啓一郎

1875年(明治8年)1月1日に日米郵便交換条約の発効にあわせて、外国郵便用の切手12銭、15銭、45銭の鳥を図案とした3種類の切手が発行された。

それぞれの切手には仮名で「イ」「ロ」「ハ」が印刷されており、その現存数は一様ではない。中でも鳥12銭の「ハ」は、未使用、使用済とも圧倒的に数が少なく、そのぶんカタログでの評価もずば抜けて高くなっている。



未使用

「ハ」の未使用は単片でも貴重だが、ペアとなると縦ペア1点横ペア1点しか残っていない。



使用済最大ブロック

使用済最大ブロックもペアが最大群で、3点が知られているのみである。



二重円内右上3本線落ちエラー

鳥切手15銭「ロ」の「書十」につぐ大きなエラーとして知られている。

(1, 3点目の拡大画像 → 7ページ)